



妻西中キャラ めにしちゃん

学び磨き鍛える

正しい判断力とたくましい実践力を
もった妻沼西中生を育む学校

発行 熊谷市立妻沼西中学校
電話 048(588)1361
FAX 048(589)0496
令和7年12月09日
第21号

『12月11日～妻沼西中開校記念日』

校長 清水 利浩



妻沼西中学校の開校について調べてみました。1964（昭和39）年4月1日 妻沼中学校と太田中学校が統合し、妻沼西中学校が誕生します。そして、1965（昭和40）年4月1日、妻沼西中学校と男沼中学校が統合します。この日、新しい校舎において、始業式が行われました。ということは、1964年の最初の年の卒業生は、妻沼西中学校の校舎では学んでいないということになります。かつての記録から

振り返ってみます。1964年の妻沼西中3年生で、第一回卒業生の方の記述です。

「当時、私達はまだ現在のように、妻沼、太田、男沼地区の生徒が現在の西中学校に通学したのではなく、妻沼中学校、太田中学校、男沼中学校それぞれの学校で別々に勉強と運動に勤（いそ）しんでいました。当時は、校舎すら完成しておらず、現在の西中学校は想像もできませんでした。東中学校が、1年早く開校しており、近代的な学校をうらやましく思ったものでした。」

「私達は、第一回の卒業生になっていますが、実際は、西中に通ってもいないし、教室にも入っていません。校舎で勉強もしていません。妻沼分校・太田分校に分かれて、中学校生活を送りましたので、卒業生としての思い出はないに等しいものです。ただ、思い出せることは、運動場になる場所の草取りと教室に机や椅子を運んだことくらいです。」

1964年に新入生として妻沼西中に入学した方の記述です。

「期待と不安を胸に、妻沼西中学校に入学しました。西中と言っても、校舎は未完成で、妻沼中学校（今のさくら公園のあたり）に入りました。」

1965（昭和40）年12月11日、校舎落成記念式典が行われました。そして、この日が開校記念日と決まりました。

私たちが、毎日当然のように学んでいるこの妻沼西中学校。誕生に向けて、先輩たちのたくさん努力と苦労の上に成り立っています。62年目の妻沼西中学校。この開校記念日に、いろいろなことを話題にしてください。良かったら、校長先生にも教えてください。

地域の皆様方も開校当時のエピソードを西中学校までお寄せください。

<参考文献> ・「妻沼西中学校 創立三十周年記念誌」平成6年 、 ・「妻沼西中学校 創立50周年記念誌」平成25年